

2023 年(令和 5 年)

定時社員総会・理事会

第14期

2022年4月1日～2023年3月31日

日 時:2023年5月6日(土)

場 所:産経新聞社大阪本社8階会議室

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

定時社員総会・理事会

○日 時 2023年5月6日(土) 10時半から理事会、14時から社員総会

○場 所 産経新聞社大阪本社8階803会議室(大阪市浪速区湊町 2-1-57)

☆総会資料について総数66票の内、理事・終身会員・チーム・都道府県協会出席者数27人(理事出席12人、終身8人、AB団体5人、所属協会2人)、委任15人(理事3人、AB団体12人)で合計42人出席、過半数を超え理事会・総会は成立。

※総数66票の内訳(理事18、終身8、A・Bチーム28、所属協会12)

○第1号議案

・2022年度事業報告、2022年度登録チーム報告

○第2号議案

・2022年度決算報告(承認事項)⇒承認

○第3号議案

・2022年会計監査、業務監査報告(田中豪会計監査、中村栄作業務監査)

・正味財産増減計算書との調整表(壇税理士)

・財務諸表(壇税理士)

○第4号議案

・2023年度予算(承認事項)⇒承認

○第5号議案

・2022年日本国際ドラゴンボート選手権収支明細

○第6号議案

・2023年度事業計画・日程

○第7号議案

・各専門委員会2022年度報告と23年度方針(各専門委員会委員長より)

○第8号議案

・役員改選(承認事項)⇒承認

・その他、質問

日本選手権での理事への謝金支払いについて(承認事項)⇒承認

「定款」の変更について(承認事項)⇒承認

一般社団法人海の森総合型地域スポーツクラブ加盟について、安全指導プログラム化について、

【第1号議案1】

2022 年度事業報告

2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月末まで

【国内大会】

- ◇5月15日(日) 東京ドラゴンボート大会2022(東京・お台場海浜公園)
第15回世界ドラゴンボート選手権予選会
JDBA 主管、サンスポ後援
- ◇6月 堺泉北港スモールドラゴンボート大会(高石市)⇒中止
- ◇5月29日(日) 第10回スモールドラゴンボート日本選手権大会(滋賀・大津市)
第15回世界ドラゴンボート選手権スモール選考会
JDBA 共催、サンスポ後援
- ◇7月17日(日) 天神祭奉納日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪市・天満橋)
第15回世界ドラゴンボート選手権大会最終選考会
JDBA 主催、サンスポ特別後援
- ◇8月21日(日) 第17回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会 サンスポ後援
- ◇8月末 KIXフレンドシップドラゴンボート大会(関西空港そらパーク)
JDBA、関西エアポート、和歌山協会主催⇒中止
- ◇11月6日(日) 第12回静岡ドラゴンボート大会ツナカップ(静岡市清水区)
大会結果 静岡ドラゴンボート協会 HP 静岡ドラゴンボート協会主催
<https://www.c-sqr.net/c/sdbdragonboat/reports/505502>
- ◇11月13日(日) 宇治源平龍舟祭(京都・宇治川) 京都府ドラゴンボート協会主催

【国際大会】IDBF,AOC,ADBF 主催大会

- ◇2023年8月7-13日 第15回世界ドラゴンボート選手権大会(タイ・パタヤ)
- ◇2023年9月23日ー 第19回アジア競技大会(中国・杭州)※JDBA 派遣なし
- ◇2024年 第16回アジアドラゴンボート選手権大会(香港)
- ◇2024年 第14回CCWCクラブクルー世界選手権(イタリア・レベンナ)
- ◇2025年7月16-20日 第16回WDBRC世界ドラゴンボート選手権(ドイツ・ブランデン
ンバーグ)
- ◇2026年9月ー10月 第20回アジア競技大会(愛知県・名古屋市共催) 予定
- ◇2027年5月 関西ワールドマスターズゲームズ・ドラゴンボート(滋賀県大津市)

【第1号議案2】

2022年度JDBA 団体登録チーム(順不動)

A団体登録チーム7チーム(1年前5チーム、2年前1チーム、3年前10チーム、4年前7チーム、5年前7チーム)

① bp(大阪)	② Bon Oyage(東京)	③ すいすい丸(京都)
④ 関西龍舟シンバ(兵庫)	⑤ 東京龍舟(東京)	⑥ 東京龍舟マスターズ(東京)
⑦ 磯風漕友会(兵庫)	⑧ 東京龍舟プラチナ(東京)	⑨ Umih(静岡)

B団体登録チーム21チーム(1年前17チーム、2年前20、3年前40、4年前51、5年前54)

① すきやねん大阪(大阪)	② チーム未来(大阪)	③ 池の里 lakers!(滋賀)
④ 琵琶湖ドラゴンボートクラブ(滋賀)	⑤ team 風(大阪)	⑥ 関西龍舟パーバリアンズ(兵庫)
⑦ Team BANANA(兵庫)	⑧ ビューティープレミアム MIX(大阪)	⑨ ジャングルマニア(東京)
⑩ チーム☆ライカナイ(東京)	⑪ 鹿島龍舟部(東京)	⑫ チャイナドルチマキ(東京)
⑬ INO-G(埼玉)	⑭ セニョールセニョリータ(東京)	⑮ 深川カヌー倶楽部(東京)
⑯ Roa's(千葉)	⑰ CIC RISING STSR(埼玉)	⑱ IHI 瑞龍丸(東京)
⑲ TOKYO DRAGON(東京)	⑳ TOKYO DRAGON WILD(東京)	㉑サーフだったベイザーズ(東京)
㉒ Rスポーツマンクラブ(大阪)	㉓吹田龍舟倶楽部(大阪)	㉔TAITAM X DRAGON(神奈川)
㉕ 小寺製作所(滋賀)	㉖DragonBoat ClubG.P.O(滋賀)	㉗チームしぞおかどらんちゅ(静岡)
㉘ 沖縄龍舟(沖縄)		

都道府県協会登録 12 団体

① 沖縄県ドラゴンボート協会	② 東京都ドラゴンボート協会	③ 千葉県ドラゴンボート協会
④ 静岡ドラゴンボート協会	⑤ 愛知県ドラゴンボート協会	⑥ 福井県・九頭龍ドラゴンボート協会
⑦ 滋賀県ドラゴンボート協会	⑧ 京都府ドラゴンボート協会	⑨ 和歌山県ドラゴンボート協会
⑩ 大阪府ドラゴンボート協会	⑪ 兵庫県ドラゴンボート協会	⑫ 宮崎県ドラゴンボート協会

終身会員(五十音順)

伊藤健一	井上信一郎	後藤幸弘	菖蒲誠	谷達也	原田直己
前嶋清	細谷悦哉	宮村一	矢田節彦		

年度別 都道府県別A・B団体登録チーム加盟数

県名	2022年度 36チーム	2021年度 22チーム	2020年度 21チーム	2019年度 49チーム	2018年度 58チーム	2017年度 61チーム
埼玉県	2	0	1	2	2	3
千葉県	1	1	2	0	0	0
東京都	13	4	6	14	16	17
神奈川	1	1	2	0	4	4
静岡県	2	1	0	1	1	2
愛知県	0	0	0	1	1	1
京都府	1	1	0	1	1	1
滋賀県	4	4	1	4	5	4
大阪府	7	6	8	12	18	16
兵庫県	4	4	0	10	7	9
和歌山	0	0	0	0	0	0
奈良県	0	0	0	1	1	1
鳥取県	0	0	0	1	1	1
熊本県	0	0	0	1	0	1
鹿児島	0	0	0	1		
沖縄県	1	0	0	0	1	0

【第2号議案】

決算報告(承認事項) ⇒承認

事務局

2022年度 一般社団法人日本ドラゴンボート協会決算報告

(2022年4月1日～2023年3月末まで)

¥18,563,791(総収入)－¥16,856,739(総支出)＋¥3,084,460

(2021年度繰越金)＝¥4,791,512(2022年度3月末時点通帳残金額)

1. 収入の部(税込)

収入項目	2022年度予算	2022年度決算	増減	内訳
1. 会費・登録料	300,000	800,000		個人A、団体A・B登録料
2. 検定料	50,000	253,000		パドル・バチ検定料
3. 主管料	400,000	400,000		びわこスモール選手権、東京大会
4. JDBA HP 広告料	1,000,000	2,054,872		JDBAのHPへのサンスポバナー広告料
5. 寄付金	0	0		チーム・役員寄付金
6. 日本選手権ドーピングくじ助成	0	0		ドーピング助成金はなくなり、実費一括分担金支払
7. 日本選手権基金助成金	4,300,000	4,379,000		日本スポーツ振興センターより基金大会助成金 P16に明細を記載
8. 日本選手権大会参加料・協賛金	1,500,000	3,570,000 2,013,000		日本選手権参加料 協賛金(大王製紙他)
9. 通帳間移動①	2,300,000	2,256,881		JDBA 助成通帳より戻金
10. 通帳間移動②	400,000	57,000		JDBA 本体通帳借入
11. 通帳間移動③	0	0		ドーピング通帳
12. 通帳間移動④	2,300,000	2,500,000		
13. 利息	0	1		普通預金利息
14. 雑収入	100	280,037		ドーピング分担金返還金他
小計	12,550,100	18,563,791		
前年度繰越金	3,084,460	3,084,460		21年度繰越金
合計	15,634,560	21,648,251		

2. 支出の部(税込)

支出項目	2022 年度予算	2022 年度決算	増 減	内 訳
1. 会費	250,000	133,790		IDBF、水上安全協会、 ワールドゲームズ会費ほか
2. 宿泊・交通費 国内旅費 海外旅費	30,000	37,540 150,000		役員国内交通費 海外役員派遣費
3. HP サイト管理料 税理士処理費 事務所費	275,000 500,000	275,000 417,147 201,631		HP管理費 会計処理費、税金等 事務所費
4 通信費・郵券	30,000	21,770		海外送金料 振込手数料
5. 会場借上げ	0	0		総会を産経に変更の為
6. 消耗品・補修費	0	0		ドラゴン修理費
7. 会議費・打合せ費	0	760		関空大会打合せ
8. 地方協会分配金	50,000	77,100		東京、大阪、滋賀協会
9. ハイスピードカメラ返済	0	0		2017 年7月で終了
10ドラゴン 5 隻保管料	450,000	472,000		大阪・南港にカバー付き で5隻保管
11選手強化費	0	50,000		世界選手権
12貸出金	2,400,000	2,500,000		JDBA 本通帳から助成 通帳へ移動
13貸出金返金	400,000	58,000		助成通帳から本通帳へ
14立替金返済②	0	0		日本選手権口座立替 金返済(JDBA 口座よ り)
15日本選手権大会 経費	10,000,000	12,462,001 ※収入 9 の 2,256,881 を含む		※P17 に詳細を記載
16海外大会役員派 遣費用	0	0		世界選手権役員派遣 2 人(菖蒲、森永)
17 予備費	1,249,560	4,791,512		
合計	15,634,560	21,648,251		

第14期

財 務 諸 表

自：令和 4年 4月 1日

至：令和 5年 3月31日

〒556-8663

大阪市浪速区湊町2-1-57

一般社団法人日本ドラゴンボート協会

理事長 長谷川 伸

貸借対照表

令和 5年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,791,512	3,084,460	1,707,052
流動資産合計	4,791,512	3,084,460	1,707,052
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
特定資産合計	0	0	0
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
船舶	8	8	0
その他固定資産合計	9	9	0
固定資産合計	9	9	0
資産合計	4,791,521	3,084,469	1,707,052
II 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	9,189	9,189	0
仮受金	100	100	0
流動負債合計	9,289	9,289	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	9,289	9,289	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
2. 一般正味財産	4,782,232	3,075,180	1,707,052
正味財産合計	4,782,232	3,075,180	1,707,052
負債及び正味財産合計	4,791,521	3,084,469	1,707,052

正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日 から令和 5年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費			
正会員受取会費	1,142,000	386,000	756,000
事業収益			
事業収益	8,170,872	5,067,000	3,103,872
受取補助金等			
受取民間助成金	4,379,000	4,751,000	△372,000
雑収益			
受取利息	38	21	17
雑収益	57,000	0	57,000
雑収益計	57,038	21	57,017
経常収益計	13,748,910	10,204,021	3,544,889
(2) 経常費用			
事業費			
旅費交通費	251,200	137,000	114,200
通信運搬費	82,500	158,400	△75,900
消耗什器備品費	189,723	113,740	75,983
消耗品費	14,590	0	14,590
印刷製本費	122,100	118,800	3,300
光熱水料費	133,920	0	133,920
賃借料	285,160	225,170	59,990
保険料	90,600	0	90,600
支払負担金	277,600	344,000	△66,400
支払寄付金	150,000	150,000	0
委託費	9,571,072	8,625,398	945,674
雑費	167,129	38,566	128,563
事業費計	11,335,594	9,911,074	1,424,520
管理費			
交際費	30,618	0	30,618
旅費交通費	37,540	29,440	8,100
通信運搬費	520	5,103	△4,583
消耗品費	987	4,006	△3,019
租税公課	50,000	51,250	△1,250
支払負担金	86,790	54,704	32,086
委託費	392,563	337,500	55,063
雑費	107,246	87,536	19,710
管理費計	706,264	569,539	136,725
経常費用計	12,041,858	10,480,613	1,561,245
評価損益等調整前当期経常増減額	1,707,052	△276,592	1,983,644
当期経常増減額	1,707,052	△276,592	1,983,644
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	1,707,052	△276,592	1,983,644
当期一般正味財産増減額	1,707,052	△276,592	1,983,644
一般正味財産期首残高	3,075,180	3,351,772	△276,592
一般正味財産期末残高	4,782,232	3,075,180	1,707,052

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	4,782,232	3,075,180	1,707,052

科目別減価償却資産確認表

令和 4年 4月 1日～令和 5年 3月31日

(単位：円)

固定資産コード	使用開始年月日 年月日	取得価額	期首帳簿価額	償却方法		耐用年数 償却率	償却期間	残存簿価 (残価保証額) 償却可能限度額	減価償却費			減損損失額		期末帳簿価額	処分時帳簿価額
				償却基礎金額	償却率				事業費	管理費	経常外費用	過年度未償却額	当期償却額		
【1224 什器備品】															
0000000004	H26. 7. 24	3,012,611	1	200%定率法	1	5年 12	12	1円	0	0	0	0	0	3,012,610	1
名称 ハイスピードカメラ															
勘定科目合計		3,012,611	1						0	0	0	0	0	3,012,610	1
【1226 船舶】															
0000000001	H22. 7. 1	2,553,675	3	250%定率法	3	5年 12	12	3円	0	0	0	0	0	2,553,672	3
名称 BUK艇															
0000000002	H24. 6. 28	1,485,296	3	200%定率法	3	5年 12	12	3円	0	0	0	0	0	1,485,293	3
名称 チャンピオン艇															
0000000003	H25. 6. 18	1,065,376	2	200%定率法	2	5年 12	12	2円	0	0	0	0	0	1,065,374	2
名称 チャンピオン艇															
勘定科目合計		5,104,347	8						0	0	0	0	0	5,104,339	8

12

(注) 勘定科目が登録されていない減価償却資産は表示されません。

第2号議案と正味財産増減計算書との調整表

(単位：円)

収入の部	18,563,791
通帳間移動	△4,756,881
通帳内移動	△58,000
正味財産増減計算書	
經常収益計	13,748,910

支出の部	16,856,739
通帳間移動	△4,756,881
通帳内移動	△58,000
源泉所得税	43,903
源泉所得税納付	△43,903
正味財産増減計算書	
經常費用計	12,041,858

※この調整表で収入と収益、支出と費用の違いを検証した結果
第2号議案と正味財産増減計算書の一致が確認されました

2022年度 会計監査について

【外部監査】

2022年度の一般社団法人日本ドラゴンボート協会の決算関係書類、通帳について監査したところ、いずれも正当・妥当に処理されていました。

2023年5月1日

税理士・公認会計士

田中 豪



【第4号議案】

2023年度予算(承認事項)⇒承認

事務局

2023年度一般社団法人日本ドラゴンボート協会予算
(2023年4月1日から2024年3月末まで)

1. 収入の部

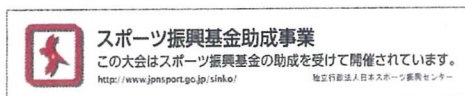
収入項目	2022年度決算	2023年度予算	増減	内訳
1. 会費・(登録料)	800,000	800,000		A個人A・B団体会費、都道府県会費
2. 検定料	253,000	250,000		パドル検定代
3. 主管料	400,000	400,000		琵琶湖スモール、海の森大会
4. JDBA HP 広告料	2,054,872	1,500,000		協会 HP パナー広告料サンスポ掲載料
5. チーム役員寄付	0	0		
6. 日本選手権トーニング助成	0	0		くじ助成金 日本選手大会
7. 日本選手権基金助成金	4,379,000	5,000,000		toto スポーツ振興センター基金助成
8. 日本選手権参加料・協賛金	3,570,000 2,013,000	4,000,000 1,000,000		参加料 協賛金:大王製紙
9. 通帳間移動	2,256,881	2,300,000		JDBA 本体通帳に返金
10 通帳間移動借入(助成通帳)	57,000	50,000		JDBA 本体通帳より借入
11.通帳間移動b	2,500,000	2,500,000		JDBA 本体通帳より借入
12.雑収入	280,038	50,000		利息ほか
13.新艇購入積立金	0	500,000		通帳間移動
小計	18,563,791	18,350,000-		
前期繰越金	3,084,460	4,791,512-		2022年末通帳残金
合計	21,648,251-	23,141,512-		

2. 支出の部

支出項目	2022 年度決算	2023 年度予算	増 減	内 訳
1. 会費, IDBF 登録費	133,790	150,000		IDBF、JADA 会費 DP 会費
2. 旅費	37,540	30,000		役員交通費
国際委員海外旅費	150,000	150,000		海外役員
3. 事務所費	275,000 417,147 201,631	500,000 500,000 200,000		HP管理 会計処理費 事務所費
4. 通信費 郵券	21,770	30,000		振込手数料
5. 会場借上				総会会場等
6. 消耗品費				ボート修理費
7. 会議費・打合せ費	760	30,000		天神大会来 賓食事代など
8. 地方協会分配金	77,100	70,000		
9. ハイスピードカメラ 返済金				27年7月まで
10. 5艇保管料	472,000	472,000		5艇を大阪南 港に保管
11. 選手強化費	50,000	100,000		
12. 貸出金	2,500,000	2,500,000		助成通帳へ
13.				JADA
14. 貸出金1部返 金	58,000	60,000		JDBA 通帳か ら toto 専用 通帳に貸出
15. 日本選手権大 会経費	12,462,001	13,000,000		
16. 新艇購入積立 金	0	500,000		通帳間移動
小計		18,292,000		
予備費		4,849,512		
合計	16,856,739	23,141,512		

※別通帳にドラゴン艇購入資金として 50 万円を通帳間移動する。

【第5号議案】



天神祭奉納 2022 日本国際ドラゴンボート選手権大会収支明細(7/17)

【収入明細】 9,962,000 円 (税込み)

日時	相手先	内容	金額
1	参加料収入	スタンダード 12万×18=216万,11万 (シニア) ×2=22万、 スモール 7万×17=119万	3,570,000-
2	大王製紙	協賛金 (産経新聞社経由)	1,980,000-
3	日本スポーツ振興センター (JSC) 基金助成金	競技会開催助成金として	4,379,000-
4	日本工業技術専門学校	プログラム広告費	33,000-
小計			9,962,000-

【支出明細】 10,205,120 円 (税込み)

1	広瀬産業海運株式会社	海上施設費・曳航費	2,750,000-
2	レントサービス株式会社	陸上会場施設費	1,903,000-
3	大阪市公園事務所	南天満公園使用料	35,420-
4	大阪音響研究所	会場音響施設費	473,000-
5	明東産業株式会社	海上警備艇備船料	880,000-
6	セフティプロモーション	陸上警備費 (ガードマン)	322,531-
7	サンケイ総合印刷	大会プログラム製作費	122,100-
8	アサコ(株)	メダル・盾製作費	139,123-
9	大翔トランスポート(株)	資材運送費 南港から桜ノ宮	82,500-
10	甲南サービス	廃棄物処理費用	99,000-
11	テレコム	無線レンタル料	90,200-
12	山口富士夫	司会・実況料	33,000-
13	NPO 法人大阪水上安全協会	八軒家浜棧橋使用料	66,000-
14	大阪水上バス(株)	大会警戒艇 1隻使用料	55,000-
15	大阪キャッスルホテル	関東役員 4名宿泊費	39,600-
16	東京協会 長谷川 伸	関東役員交通費 2名	56,000-
17	大阪府ドラゴンボート協会	主管料	150,000-
18	天神祭渡御行事保存会	初穂料	150,000-
19	レントサービス	コロナ対策費	209,000-
20	フジサンケイエンジニア	傷害保険料	90,600-

21	大阪市公園事務所	八軒家浜公園使用料	17,710-
22	セイカセリグラフィー	検定用シール代	50,600-
23	ジャパンエモーション	ワイファイレンタル代	5,830-
24	大阪キャッスルホテル	会議室料（来賓室）	15,000-
25	大阪キャッスルホテル	駐車代（来賓）	5,600-
26	ニッピョウ	氷代	133,920-
27	(株)ISSEI	役員用弁当代	128,500-
28	産経新聞社	全ページ新聞特集代	700,000-
29	産経新聞立替金	傷害保険、謝礼、レタカ-ほか	392,041-
30	産経新聞社サンスポ	大会運営費	1,000,000-
31	三井住友銀行	銀行振込手数料 17件	9,845-
小計			10,205,120-

※22年大会の赤字額 243,120円はJDBAが負担。

【 第 6 号議案 】

2023年度 JDBA 関連大会日程

5月8日現在

【国内大会】

- ◇4月30日(日) いさドラゴンカップ2023(鹿児島・伊佐市) JDBA 後援
- ◇5月21日(日) 東京ドラゴンボート大会2023(東京・お台場海浜公園)
東京都協会主催
- ◇6月25日(日) 250m 測定会(高石市・大阪府立漕艇センター) ODBA 主催
- ◇7月16日(日) 天神祭奉納2023日本国際ドラゴンボート選手権大会(大阪・天満橋)
★【第16回アジアドラゴンボート選手権大会選考会】
250M コース JDBA 主催、サンスポ特別後援
※コロナ禍、荒天等で中止の場合は11月5日(日)に延期。
- ◇8月6日(日) 第13回九頭龍ドラゴンボート大会(福井 九頭龍川)
- ◇8月20日(日) 予定 KIX国際交流ドラゴンボート大会(大阪・泉佐野 関西国際空港)
関西エアポート、JDBA、和歌山協会 主催
- ◇8月27日(日) 第11回スモールドラゴンボート日本選手権大会(滋賀・大津市)
★第16回アジアドラゴンボート選手権スモール選考会
滋賀県協会主催、JDBA 共催、サンスポ後援
- ◇9月10日(日) 相生龍舟フェスティバル(兵庫・相生スポーツネット主催、HDBA 後援)
- ◇9月17日(日) 予定 東大島大会(東京・江戸川区、東京龍舟主催) 東京龍舟主催
- ◇9月23日(土) びわこペーロン大会(滋賀・大津)
- ◇9月24日(日) 第18回びわ湖ドラゴンキッズ選手権大会(滋賀・大津) サンスポ 後援
- ◇10月22日(日) 第2回ドラゴンボート海の森オープン(東京・江東区海の森)
★【第16回アジアドラゴンボート選手権大会選考会】
200m,500m コース、TDBA 主催、JDBA 共催、サンスポ後援
- ◇10月29日(日) 第13回静岡ドラゴンボート大会ツナカップ(静岡)
ツナカップ告知情報の URL <https://www.c-sqr.net/c/sdbadragonboat/announces/6554>
- ◇11月5日(日) 天神祭奉納日本選手権(予備日)
- ◇11月12日(日) 予定 ヘッドオブ瀬田・ドラゴンボートロングレース(滋賀・瀬田)
- ◇11月12日(日) 宇治源平龍舟祭(京都・宇治) KDBA 主催

【国際大会】 IDBF,AOC,ADBF 主催大会

- ◇2023年8月7-13日 第15回世界ドラゴンボート選手権大会(タイ・パタヤ)
- ◇2023年9月23日-10月8日 第19回アジア競技会(中国・杭州) ※派遣なし
- ◇2024年9月 第16回アジアドラゴンボート選手権大会(香港)
- ◇2024年9月5-8日 第14回世界クラブカップ選手権(イタリア・ラベナ)
- ◇2025年7月16-20日 第16回WDBRC世界ドラゴンボート選手権(ドイツ・フランクフルト)
- ◇2027年5月 ワールドマスターズゲームズ関西(関西広域・ドラゴン滋賀県大津)

【第7号議案】 専門委員会報告

国際委員会 2022 年度活動報告、2023 年度活動方針

(2023 年 4 月 14 日)

報告者：森永 裕幸

1. 海外からの問い合わせに対する対応（大会関係報告含む）

2023 年開催予定の国内大会への問い合わせや日本選手権大会参加要項など、10 数チームに対応した。

2. 2022 年度開催の国際大会

1) 2022 年 7 月 18-24 日：第 13 回世界クラブカップ選手権大会（California, Sarasota city, USA）

2) 2022 年 11 月 19 日－21 日：第 14 回アジアドラゴンボート選手権大会（Royal Thai Navy Rowing Center タイ王国）

日本からの参加なし 審判：菖蒲さん（上訴審判・副競技委員長）

なお、タイのパタヤで開催された「アジアドラゴンボート選手権大会」は 12 カ国がエントリー
Australia, Cambodia, China, Chinese Taipei, Hong Kong, China, India, Indonesia, Malaysia, Myanmar, Nepal, Singapore & Thailand.

今後の主なドラゴンボート競技大会

● 国際大会

1) 2023 年 8 月 7 日－13 日：

第 16 回世界ドラゴンボート選手権大会（パタヤ、タイ王国）

2023.1 大会参加に向けた準備開始

2023.4 現在、大会事務局および参加予定者や旅行代理店と調整中。

大会運営には菖蒲が国際審判員として参加。

2) 2023 年 9 月 23 日～

アジア競技大会（Asian Games 2023、中国・浙江省・杭州市）

2 月上旬、菖蒲さん・森永へ役員参加の確認

3 月上旬、森永が所用で参加できないため、松尾さんが参加予定。

菖蒲：上訴審判員と副競技委員長との兼務

松尾さんのポジションについては ADBF で調整中

3) 2024 年 9 月：第 14 回世界クラブカップ選手権大会（Ravenna, Italy）

4) 2025 年 7 月：第 16 回世界選手権大会（Brandenburgh, Germany）

● 日本選手権大会

3 月上旬、日本選手権への海外チームからの問い合わせに対応するため、英語版大会参

加要項等の準備・内容調整を松尾さん主導で行う。

3. その他

1) 国際審判員の普及

日本ドラゴンボート協会には現在 30 名の国際審判員資格保持者がいます。国際審判員を日本において普及することは、国内における国際大会に対応できるとともに、国際選手権レベルの大会での審判経験による安定した国内大会の競技運営にもつながると考えています。今後とも、皆様のご理解とご協力をお願いします。

2) South East Asian Games (東南アジア競技大会) at Phnom Penh, Cambodia

日本は東アジアに属しているため、SEA Games は直接的には関係ありませんが、ドラゴンボート競技も正式種目となっており、2023 年 5 月 10 日 - 17 日までドラゴンボート競技が開催されます。Olympic Council of Asia (アジアオリンピック評議会) から国際審判員として大会運営を担って欲しい旨依頼があり、菖蒲が競技副委員長として参加することになっています。

以上

2023 年 4 月 15 日

日本ドラゴンボート協会 強化委員会

半田、河田、高橋、楡木

強化委員会 2022 年活動報告及び 2023 年度計画

<2022 年度>

所属チームの枠を超えた代表選抜の活動は、2021 年度より延期となった JOC 派遣の Asian Beach Games の出場を目指したが、再度の大会延期となり男女ともに出場の機会を得ることができなかった。

2022 年度 ADBF 主催のアジアドラゴンボート選手権には日本からの出場チームがなく、代表チームによる国際大会への参加は 2023 年度に持ち越しとなった。

2022 年度の東京大会、日本選手権、スモール日本選手権の結果により、2023 年度の IDBF 世界ドラゴンボート選手権 (タイ・パタヤ) に出場する代表チームを決定した。

<2023 年度>

IDBF 世界ドラゴンボート選手権 (8 月 タイ・パタヤ) への出場に向けて、代表獲得チームが主体となり他チームの有力選手からも選抜しメンバー編成、強化合宿を複数回行い、4

年ぶりの国際大会への出場と好成績の獲得を目指す。女子カテゴリーについては Asian Beach Games 代表をベースに 3 月に実施した選考会により選出された選手を加えて参加する。

(スタンダードボート)

プレミアオープン：bp (世界選手権への出場なし)

プレミア混合：東京龍舟

プレミア女子：該当チームなし

シニア A オープン：東京龍舟

(スモールボート)

プレミアオープン：bp

プレミア混合：東京龍舟

プレミア女子：Asian Beach Games 代表及び選抜選手

シニア A オープン：東京龍舟

シニア B オープン：東京龍舟

この他、23 年度の国際大会代表選考会は、スタンダードについては日本選手権大会、海の森大会の合計ポイントで選出する仕組みに変更。公平・公正な競技会場でのレース及び 500m 種目にも注力した選考方法に変更した。

以上

2022 年度活動報告並びに 2023 年度活動方針

2023 年 4 月

日本ドラゴンボート協会

法制営業委員会委員長 利波敏行

【2022 年度活動報告】

■活動報告

新型コロナの感染拡大防止の影響もあり、新たなる案件などリサーチ活動も乏しかった 1 年である。

IMGA より、WMG 関西が 2027 年 5 月開催が正式に承認され、昨年 7 月に発表。

大会全体のプロモーションも練り直しとなり、個々の競技の PR 対策が改めて必要。

次年度以降 組織委員会の動向を見ながら、協会内部でも検証する動きとした。次年度引き続きの業務。

【2023 年度活動方針】

■活動方針について

2月の臨時理事会時に TDBA より報告があった「海の森」での国際大会（クラブカップ選手権等）招致に

おけるマーケティング活動を充実させる。

国際統括 菖蒲副理事長とも連携し、IDBFの動向調査も行う。

WMG2027については、5月22日にIMG A上層部来日によるキックオフミーティングが大阪で予定されているため、今後のプロモーション活動の情報収集を行う。

日本選手権の協賛企業のアプローチ活動をサンケイスポーツと連携して行う。

以上

2022-2023年 評議委員会報告

◇2022年シーズンについて

2022年シーズンも、2020年初頭からの新型コロナウイルスの影響は続きましたが、これまでの2年とは違う傾向がありました。

新年から春先 ならびに 初夏から秋にかけ、デルタ株やオミクロン株への変異も相まって感染者数が一気に増加したことなどからドラゴンボートに関する活動においても一部制限せざるを得ない状況はあったものの、ウィズコロナ的な考え方の浸透をはじめとする新型コロナウイルスに対する向き合い方の変化もあり、各地での大会やイベントなどの復活がこれまでに増して多く見られる状況となりました。

それに呼応するかのよう、各地・各チームにおける活動そのものも、コロナ前の状況に戻る兆しを感じる部分がたくさんありました。

これはひとえに、各地での、多くの関係者の皆様のご尽力の賜物によるものと思ひ、感謝しております。

ここで、各地での活動を総括しますと、

- 練習をはじめとした活動は、多くの制限の中でほぼ休止状態に近かった2020年シーズン、その後回復傾向にあった2021年シーズンに比べても、さらに回復が進みました。各地・各チームからのSNS等での発信も、ほぼ戻りつつあります。人もかなり集まるようにはなりましたが、2019年以前の状態まで回復するにはまだ道半ばの状態に見受けます。
- 活動に際しては、体調管理はもとより、新型コロナウイルスに関する制限が緩和の方向に向かい、かつ、対応策もより明快になったことから、それらを踏まえたうえでの、通常に近いスタイルでの活動が可能になり、より前向きかつ継続的に行われている印象があります。

○大会やイベントは、一部において地元や関係企業など一般参加も含めたイベント性の高い大会は中止になったものがあったものの、そのほとんどが復活してきました。ただ、こちらも参加者の参集度合いについて、2019年以前の状態まで回復するにはまだ道半ばの状態に見受けられます。
以上の傾向にあったと考えております。

◇2023年度 評議委員会 事業計画

今後は、これまでの新型コロナウイルスの影響により、一旦中止あるいは制限のかかってしまった大会をはじめとした活動を、どのようにして2019年以前の賑わいの状況に戻すか、ひいては今後さらに活性化させていくかが焦点になります。

人が集うことが活性化に直結するため、以前ドラゴンボートに関わりのあった皆様にかえって来て頂くか、またこれまでドラゴンボートに関わったことがない皆様に新たな興味を持って頂くかが、大きなカギになると考えます。

評議委員会としましては、これまで3年間は新型コロナウイルスの影響で活動が限定的となり、今後もその配慮は欠かせない中での活動にはなりますが、継続的に情報収集を行いながらでき得る限り活動を活発化させ、前述の焦点・カギに対して何らかの方策を見出しながら、さらなるドラゴンボート活動・発展の一助となるよう、努めたいと思います。

評議委員会 一同

2022年度理事会・総会：普及広報委員会活動報告

2023年4月20日

2022年度総括

コロナ渦の中昨年度の日本選手権は中止となったが、本年度は5月琵琶湖スモール、7月日本国際ドラゴンボート選手権大会で、SNS等への大会情報各カテゴリーの決勝動画撮影と投稿を行うことができた。体験乗船会の問い合わせ2件。丸山委員の方では、東京大会、横浜大会、横浜での市民ボート大会、東大島大会、海の森オープンの取材をFBに投稿を行いました。

【アクセス状況】

◆協会公式サイト

2021年度訪問者数：26,153人（新規14,700人、再訪11,453人）

2022年度訪問者数：36,998人（新規23,576人、再訪13,422人）

◆JDBA 公式 Facebook ページ

2021 年度フォロワー 1,744 人

2022 年度フォロワー 1,830 人

2023 年度の活動方針

日本選手権はじめ、各大会の取材投稿を行っていく

各委員会との連携で、普及広報活動を促進して行きたいと考えています

科学技術委員会の 22 年度振り返りと 23 年度方針

報告者：後藤幸弘・田中譲・越智祐光・松田光弘

2022 年度報告

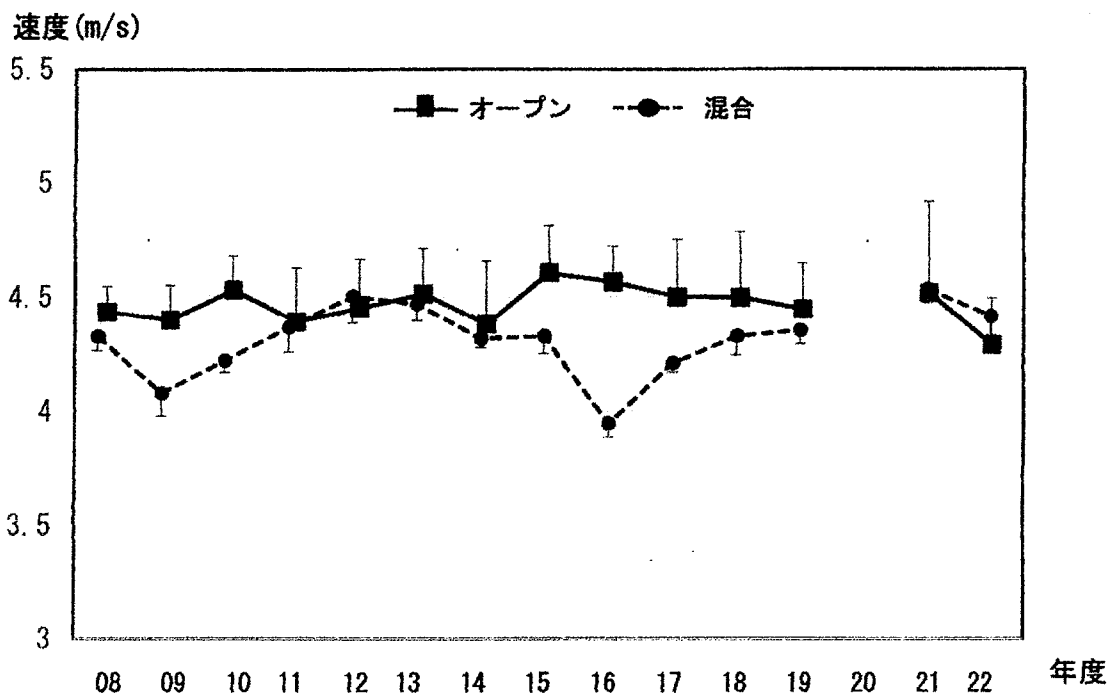
(1) 2022 年度の日本国際ドラゴンボート選手権における速度・ピッチ・ストローク長の関係を GPS システムを用いて検討した。

(2) 5 月 29 日に開催された第 10 回スモールドラゴンボート日本選手権大会（びわ湖）における速度・ピッチ・ストローク長の関係を GPS システムを用いて検討した。

(3) 日本選手権のオープン・混合の決勝進出チーム（タイムトップファイブ）の平均速度の年次経過をまとめ、競技力の変遷を検討した（図参照）。

(4) 7 月 17 日（日）に開催された 2022 日本国際ドラゴンボート選手権大会スモールドラゴンボ決勝進出チームと 5 月 29 日に開催された第 10 回スモールドラゴンボート日本選手権大会（びわ湖）決勝進出チームの成績を比較検討した。

(5) 3 月相生で行われた女子合宿において、強化部の依頼に基づく測定を行った。



日本選手権（天神）の記録の変遷（八軒屋浜会場に移行後）注：2020年度はコロナで中止
注：大会中のレースの上位5の平均と標準偏差値を示している。

2023年度方針

- ①2023.3月に行われた女子選抜合宿と2019年の男子選抜合宿の50m一人漕ぎデータから代表選抜の指針を検討する。
- ②女子合宿において、強化部の依頼に基づく測定を行う。
- ③「ドラゴンボートの科学」作成に向けて関連する研究資料の収集・調査を行う。
- ④会員等の要望があればそれに対応する。

以上

【参考資料】

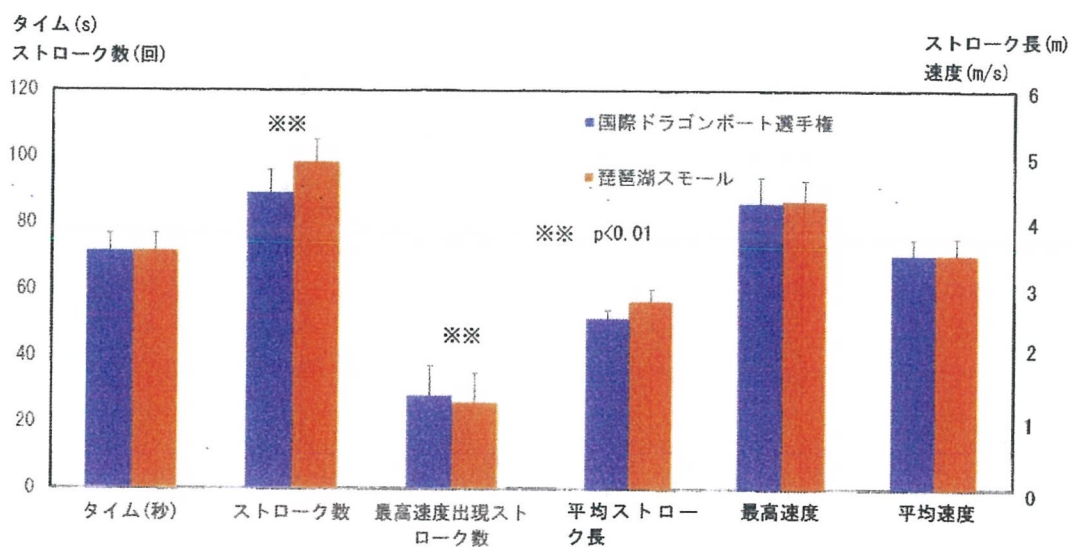
表：両大会の年次経過のまとめ

年度	上位3チームの速度平均 (m/s)			大川比率 (%)	琵琶湖比率 (%)	距離 (m)
	オープン	スモール	琵琶湖			
2015	4.23	3.42	3.79	80.8	89.6	200
2016	3.90	3.53	3.66	90.5	93.8	200
2017	4.65	3.54	3.59	76.0	77.2	200
2018	4.01	3.56	3.70	88.8	92.3	200
2019	4.13	3.20	3.81	77.5	92.3	250
2020	中止	中止	中止	中止	中止	
2021	4.57	3.99	3.91	87.2	85.6	250
2022	4.07	3.65	3.84	89.2	94.3	250
平均	4.22	3.57	3.75	87.2	89.3	
S.D	0.28	0.23	0.11	5.85	6.10	

スタンダード艇を10人のパドラーで漕ぐスモールとオープンの記録比は、8年間の平均で $87.2 \pm 5.85\%$ であった。また、琵琶湖のそれは、 $89.3 \pm 6.10\%$ であった。

下図は、2022年度の国際ドラゴンボート選手権におけるスモールレースと琵琶湖でのスモールボートによるスモールレースの比較を示している。

準決勝以上レースにおける記録比較



2023年度 アンチ・ドーピング委員会 活動報告

委員長 原田 直己

これまで ドラゴンボート競技において ドーピング検査を実施してきましたが最近 WADA はアンチ・ドーピング啓蒙・教育に重点を置くようになり J D B A もこの方針へと方向転換を図っています。 このため J A D A 傘下の競技団体においても啓蒙・教育に対する比重が増加してきました。 具体的には

1：競技会における ドーピング検査

2：競技会前の アンチ・ドーピング講習会 に追加して

3：デジタルラーニング (JADA の HP)

E-ラーニング、ウェビナー、リアルチャンピオンクイズ

4：ワークショップ

スポーツの価値、クリーンスポーツの行動化

5：啓発

アウトリーチ、ポスター掲示、

6：情報提供 (JADA)

クリーンアスリートサイト、I F アンチ・ドーピング関連ページ

7：普及

などなど

従来の体制では手に負えなくなってきました 皆様のご協力をお願いします

3

教育アクティビティ
を計画する

教育ターゲットと教育アクティビティ (JADA推奨)

2023年度、NFによる教育年間計画・実施における重点ポイント

	対面教育	E-ラーニング	ウェビナー/WEBクイズ	情報提供	普及
教育ターゲット アスリート・サポートスタッフも含む					
IF主催国際競技大会 へ派遣・参加 ★IF規程に準ずる	推奨 ワークショップ (対面式/オンライン方式)	強く推奨 ADEL 国際レベル アスリート向け	少なくとも どちらか1つ 強く推奨 11トピックス	強く推奨 アスリートサイトリンクバナー IFサイトへリンク	SNSクリーンスポー ツキャンペーン 動画投稿
強化対象	<ケーススタディの活用/課 題ベース>	強く推奨 ADEL 国内レベル アスリート向け	少なくとも どちらか1つ 強く推奨 11トピックス	強く推奨 アスリートサイトリンクバナー	SNSクリーンスポー ツキャンペーン 動画投稿
国内最高レベルの 競技会への参加	競技大会における教育	推奨 ADEL 国内レベル アスリート向け	強く推奨 11トピックス リアルチャンピオンクイズ	強く推奨 アスリートサイトリンクバナー	推奨 ・iPLAY TRUE投稿 ・SNSでの発信 ・横断幕/ポスター ・プログラム版 ・リーフレット配布 掲示
育成対象	強く推奨 ワークショップ (対面式/オンライン方式) <スポーツの価値>		推奨 リアルチャンピオンクイズ ★保護者★ 保護者向けウェビナー	強く推奨 アスリートサイトリンクバナー	推奨 ・アウトリーチ ・SNSでの発信 ・横断幕掲示 ・プログラム版 ・リーフレット配布
その他のアスリート ～一般				アスリートサイトリンクバナー	・横断幕掲示 ・SNSクリーンスポー ツキャンペーン ・プログラム版 ・広報誌 掲示

【第8号議案】役員改選（承認事項）⇒承認、その他

2023年6月－2025年5月末 JDBA 新体制役員

◎会長	松川るい（自民党参議院議員）
◎筆頭副会長	矢田節彦
副会長	櫻井顕一（代表理事）
副会長	後藤幸弘（理事）
副会長	細谷悦哉
◎理事長	長谷川伸（代表理事・競技委員長）
◎副理事長	菖蒲誠（代表理事・国際統括・ADBF 常務理事）
◎常任理事	鎌田敦士（用器具統括）
常任理事	原田直己（医事委員長）
常任理事	木村一郎（普及副委員長）
常任理事	森永裕幸（国際委員長）
常任理事	半田佳彦（強化委員長）
常任理事	楡木栄次郎（強化委員会オープン・混合担当）
◎事務総長	谷達也（国内統括）
事務局長	千葉晋史
事務局次長	清水基央
◎理事	後藤幸弘（科学技術委員長）
理事	宮村一（評議委員長）
理事	合田靖海（広報普及委員長）
理事	山脇秀練＝理事（安全委員長）＝新任
理事	石川平明（用器具委員長）
理事	利波敏行（営業法制委員長）
理事	松尾由佳（国際担当）
◎相談役	竹末佳紀
◎各専門委員会	
競技委員長	長谷川伸
強化委員長	半田佳彦
評議委員長	宮村一
審判委員長	高橋裕嗣＝新任
安全委員長	山脇秀練＝新任
セーフティアドバイザー	伊藤裕樹
国際委員長	森永裕幸

用器具委員長	石川平明
法制営業委員長	利波敏行
普及広報委員長	合田靖海
医事委員長	原田直己
アンチドーピング委員長	原田直己
科学技術委員長	後藤幸弘
◎委員	村野智子（総務部長）
委員	野尻恵子（国際委員）
委員	河田英幸（強化委員会女子担当）
委員	山脇秀錬（評議委員会副委員長）
委員	岩城耕一（評議委員会副委員長）＝新任
委員	高橋冬扇（評議委員会副委員長）
委員	池田和也（用器具委員会副委員長）
委員	松田光弘（科学技術委員会副委員長）大阪産大
	田中譲、秋武寛、越智祐光、灘本雅一、嶋田愛
委員	杉浦 丈仁（たけひと）・森薬局管理薬剤師＝新任
	（医事厚生委員会スポーツファーマシスト）
	※選手の薬の質問は この方にご相談
委員	丸山春海（普及委員会担当）
◎外部会計監査	田中豪（会計監査）
外部業務監査	中村英作（業務監査）
※理事は4人以上、18人まで。（JDBA定款「第17条 理事の員数」）	

- ・2023 日本選手権における JDBA 理事 15 名への役員謝金（1 日 2000 円）
 支払いについて（承認事項）⇒承認
 2023 年開催予定の日本ドラゴンボート選手権大会の競技役員として参加する
 JDBA 理事 15 名に対して、謝金として 1 人 2000 円を支払う事。

- ・「定款」の変更について
 JDBA の定款では
 「第 3 章 社員総会（招集） 第 11 条 当法人の定時社員総会は、毎事業年度末
 日の翌日から 2 か月以内に招集し、臨時社員総会は、必要に応じて招集する。」
 →
 第 3 章 社員総会（招集） 第 11 条 当法人の定時社員総会は、毎事業年度末
 日の翌日から 3 か月以内に招集し、臨時社員総会は、必要に応じて招集する。」に
 変更する件（承認事項）⇒承認

- ・「一般社団法人海の森総合型地域スポーツクラブ」加盟について
 （JDBA 長谷川理事長）⇒承認。JDBA, TDBA が加盟する。
 年会費 10 万円。

- ・安全推進指導者育成プログラム化の提案（チーム提案：丸山春海様よ
 り）⇒JDBA が認定し事故が発生した場合は非常に重みがある（森永理
 事）。ODBA は実際に沈没した時のビデオを撮って公開する（木村理事）。
 山脇安全委員長と長谷川理事長が地方協会を巻き込んで継続審議。

定時社員総会議事録

1. 日 時：令和5年5月6日 午後2時
2. 場 所：大阪市浪速区湊町二丁目1番57号
株式会社産業経済新聞社大阪本社8階
3. 出席者：議決権のある社員総数 63名
総社員の議決権の数 63個
出席社員総数（委任状出席を含む） 42名
この議決権の総数 42個
4. 議長理事： 長谷川 伸
5. 出席理事： 櫻井 顯一、後藤 幸弘、菖蒲 誠、原田 直己、木村 一郎、
森永 裕幸、半田 佳彦、谷 達也、千葉 晋史、榆木 栄次郎、
宮村 一、合田 靖海、石川 平明、利波 敏行、松尾 由佳、
鎌田 厚

以上のとおり社員の出席があったので、定款の規定により、理事長長谷川伸は、議長席につき、本定時総会は適法に成立したので、開会する旨を宣し、直ちに議事に入った。

第1号議案 2022年度事業報告及び2022年度JDBA登録チーム報告の件

議長は、2022年度の事業報告及び2022年度JDBA登録チームの報告を行った。

第2号議案 2022年度決算報告の件

事務局長は、2022年度の決算報告を述べ、議長が一同に諮ったところ、全員一致の承認を得た。

第3号議案 2022年度会計報告・会計監査・業務監査の件

議長は、監事中村英作及び監事田中豪が本総会を欠席したため、両氏作成の監査報告書を代読する旨を述べ、「2022年度の事業執行状況及び本社員総会において提出される計算書類については、いずれも法令及び定款に適合し、いずれも正当・妥当に処理されている旨」の記載ある報告書を代読した。

また、壇税理士より正味財産増減計算書及び調整表の説明があった。

第4号議案 2023年度予算の件

事務局長は、2023年度の予算計画を述べ、議長が一同に諮ったところ、全員一致の承認を得た。

第5号議案 2022年日本国際ドラゴンボート選手権大会収支明細の件

議長は、2022年日本国際ドラゴンボート選手権大会収支明細につき、詳細に報告した。

第6号議案 2023年度事業計画と大会日程の件

議長は、2023年度の事業計画及び大会日程を詳細に説明した。

第7号議案 2022年度各専門委員会報告と2023年度活動方針の件

各専門委員長より2022年度の活動報告と2023年度活動方針が報告された。

第8号議案 理事及び監事選任の件

議長は、定款の定めにより、理事及び監事全員が本定時社員総会終結と同時に任期満了し、退任することになるので、その改選の必要がある旨を述べ、一同に諮ったところ、全員一致をもって、次の者を理事及び監事に選任した。

なお、出席被選任者は、席上就任を承諾した。

理事	長谷川 伸	理事	櫻井 顯一	理事	菖蒲 誠
理事	後藤 幸弘	理事	原田 直己	理事	木村 一郎
理事	森永 裕幸	理事	半田 佳彦	理事	榆木 栄次郎
理事	宮村 一	理事	合田 靖海	理事	石川 平明
理事	利波 敏行	理事	松尾 由佳	理事	鎌田 厚
理事	(新任) 山脇 秀錬				
監事	田中 豪				

第9号議案 JDBA新役員選定の件

議長は、2023年6月より2025年5月末までのJDBAの新役員につき、別紙のとおり選任したい旨を述べ、一同に諮ったところ、全員一致をもって、別紙のとおり新役員を選任した。

第10号議案 日本選手権に競技役員として参加するJDBA理事に対する謝金・旅費支給承認の件
事務局長は、2023年開催予定の日本ドラゴンボート選手権大会の競技役員として参加するJDBA理事15名に対して、謝金・旅費として、一人2,000円を支給したい旨を説明し、議長が一同に諮ったところ、全員一致の承認を得た。

第11号議案 定款一部変更の件

議長は、定款第11条を下記のとおり変更したい旨及びその理由を詳細に説明した上で、一同に諮ったところ、全員一致をもって、承認可決された。

(招集)

第11条 当法人の定時社員総会は、毎事業年度末日の翌日から3か月以内に招集し、臨時社員総会は、必要に応じて招集する。

- ② 社員総会は、法令に別段の定めがある場合を除くほか、理事会の決議に基づき理事長がこれを招集する。理事長に事故若しくは支障があるときは、理事長があらかじめ理事会の承認を得て定めた順位に従い他の理事がこれを招集する。
- ③ 社員総会を招集するには、会日より1週間前までに、各社員に対して書面で招集通知を発するものとする。

その他

- ① 一般社団法人海の森総合型地域スポーツクラブへの加盟
議長は、TDBAが、一般社団法人海の森総合型地域スポーツクラブへ加盟した旨を説明し、今後、JDBAも同法人への加盟を目指していく旨であることを述べた。
- ② 安全推進指導者育成プログラム化提案
丸山春海様より、上記につきチーム提案があり、山脇安全委員長及び長谷川理事長より地方協会と連携し継続審議するとした。

6. 閉会：議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午後4時30分閉会を宣言した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成する。

令和5年5月6日

一般社団法人日本ドラゴンボート協会定時社員総会

議長代表理事兼

議事録作成者 長谷川 伸

